



東北大学

東北大学 大学院農学研究科 東北復興農学センター

東北大学の復興知を活かす葛尾村の創造的復興

事業の概要

■ 東日本大震災から8年

- ・震災時の状況を知る学生・院生の減少
- ・震災復興関連活動の減少

■ 東北大学で今も続く震災復興への取り組み

- ・学生:「東北大学に来たのだから東日本大震災について学びたい」
- ・研究者:「自身の研究を、震災復興と被災地への支援に役立てたい」

東北大学が擁する「東北を代表する優秀な人材」を集め、3つのフェイズに分けた順序的 (PDCA) な実践活動を繰り返し実施。葛尾村の地域課題解決策を探索し、復興支援の実施を目指す。

本事業の概要

- ✓ 東北復興農学センターの受講生に加え、東北大学の学生・留学生・研究者を対象とする。
- ✓ 3つのフェイズを順序的に、繰り返し実施し、確度の高い取り組みを実現する。

③ アタック・フェイズ

プロジェクトアウト活動

葛尾村のプレイヤーとともに、新しい地域課題解決策=ビジネスモデルにチャレンジする。

② アダプション・フェイズ

- 葛尾村の住民と交流する。
 - 交流を通じ、地域課題を認識する。
 - 自分たちのアイデアを自己点検する。
- 頂上(プロジェクトアウト)を見据え、プロジェクトエリアに順応する。

① バックヤード・フェイズ

- 東日本大震災についての学び。
- 東北復興に関する学び。
- 地域課題に関する学び。
- 新しいアイデアの検討。
- 分野横断的なシーズ検討。

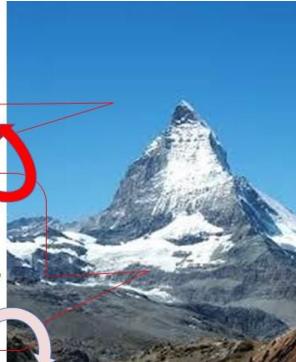


例: 菜の花プロジェクト
例: 林間放牧

入念な事前準備



研究者・留学生・社会人など多様なバックグラウンドを持つ参加者



平成30年度の取り組み

- ・ 5月 復興農学講義 (~7月 全10回)
- ・ 6月 復興農学講義エクステンション
- ・ 8月 復興農学フィールド実習 (1泊2日)
- ・ IT農学実習
- ・ 11月 葛尾村圃場稲刈り
- ・ 1月 在仙主要大学教授等の現地活動
- ・ 1月 留学生向けの現地活動



東北大学キャンパス内での講義 (①バックヤードフェイズ)



アジア・アフリカからの留学生による現地見学 (②アダプションフェイズ)

令和元年度の取り組み

- ・ 5月 葛尾村圃場田植えイベント
- ・ 5~7月 復興農学講義 (全10回)
- ・ 6月 復興農学講義エクステンション
- ・ 8月 復興農学フィールド実習 (1泊2日)
- ・ IT農学実習
- ・ 9月 葛尾小学校プログラミング教室
- ・ 10月 葛尾村圃場稲刈りイベント
- ・ 11月 葛尾小中学校にて東北大留学生による他言語読み聞かせ



郡山女子大学との連携イベント (田植え)



被災地エクステンション (葛尾村) (②アダプションフェイズ)



東北大学キャンパス内での復興・地域振興に関する講義とワークショップ (①バックヤードフェイズ)

葛尾村分室 (葛尾中学校内)

今後の課題

- 拠点の遠隔利用の推進と、各大学との知的連携の発展。
- 大学のみならず、地元にも有益な活動の展開。
- 着実な地域振興を推進できる人材の育成。

東北大学 東北復興農学センター

ホームページ: <http://www.tascr.agri.tohoku.ac.jp/>
電子メール: tascr-agri@ml.tohoku.ac.jp
TEL/FAX: 022-757-4193

- ◆ 農学研究科内 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
- ◆ 葛尾村分室 〒979-1602 福島県双葉郡葛尾村落合管ノ又14-2 葛尾村立中学校内